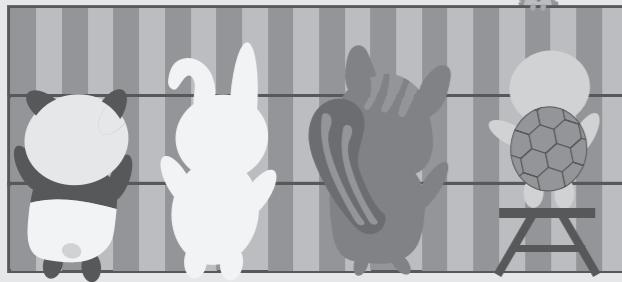


レトロな 少女漫画の 世界



今読んでも色褪せない1970～1990年代の少女漫画を集めました。時代を越えて人々の心に残る少女漫画の原点をご覧ください。※作品名、著者、出版社の順に記載しています。(聖龍)



王家の紋章

細川智栄子あんど笑～みん、秋田書店

古代の謎と時を越えた愛

考古学を学ぶ現代の女子大学生・キャロルは紀元前のエジプトにタイムスリップしてしまう。古代エジプト王・メンフィスとの劇的な出会いを果たし、やがて結ばれる。王位をめぐる陰謀やエジプトを狙う戦乱に巻き込まれながらも、命を尊ぶ心や何事にも臆さない勇気で国民や臣下の信頼を勝ち取り、力強く生き抜いていく。



はみだし
すてーじ
豚まん食べたい
⇒最近自炊を試みています！

70年代以降の少女漫画の特徴

非日常性

日常の恋愛だけでなく、「異世界」「歴史」「SF」「ファンタジー」等の非日常的な舞台も多く描かれるようになったことで、現実とは異なる多様な価値観や生き方が読者に示されました。

強い女性像

女性の社会進出に伴い、従来の受け身で恋に憧れる少女から、自立心を持ち夢や目標のために自分の意思で運命を切り開く少女へと変化してきました。

自己実現

恋愛だけでなく、夢に向かって努力し成長する姿や自身のアイデンティティの確立を目指す姿が多く描かれるようになりました。

ときめきトゥナイト

池野恋、集英社



吸血鬼の父と狼女の母を持ちながら人間界で暮らす少女・蘭世はクラスメイトの真壁俊に恋をした。蘭世には嗜みついた相手に変身してしまうという不思議な力があり、恋と秘密の両立は前途多難。ドキドキの甘酸っぱい恋と、魔界のハチャメチャなトラブルが交錯する、キュートでハラハラなファンタジーラブコメ！

ロマンチックな学園青春ドラマとポップなファンタジーが織りなす、鮮やかな世界観。感受性豊かな心情描写とテンポよく挟まるギャグやちょっとしたホラー演出が物語に独特的のリズムと余韻をもたらします。



ガラスの仮面

美内すずえ、白泉社



平凡な中学生・マヤは伝説の女優・月影千草に天性の演技力を見出され、演技の世界へと飛び込む。過酷な稽古、厳しい現実に立ち向かっていく中で、かつて月影が演じた幻の舞台劇「紅天女」の主演を夢見る。数々の困難やライバルたちとの争いを乗り越えながら女優としてだけでなく、人間としても成長していく。



少女漫画特有の繊細な心情描写は持ちつつも、感情を極限まで高めた熱く力強いセリフが飛び交い、濃密な演出が重なることによって、まるで舞台の上に立っているかのような臨場感を感じさせます。

はみだし
すてーじ

涼しくなったと思ったら急に寒くなりました……そろそろ起きるのが難しくなってくる……
⇒なかなか布団から抜け出せません。

(総・3 生協牛乳愛好家)
(大音量で音楽を聴いて何とか抜け出しています；編)

はいからさんが通る

大和和紀、講談社



時代の波に揺れる恋

時は大正。男勝りで正義感の強い女学生・紅緒はある日、名家の若き軍人・伊集院忍との政略結婚が決まってしまう。自由を夢見る彼女は最初、猛反対していたが、忍の紳士的な振る舞いや誠実さに次第に心が惹かれていく。ようやく距離が縮まりかけたとき、忍は戦地へ赴くことになってしまった。ふたりの未来を時代の波が大きく揺さぶる。

大正時代という和と洋が入り混じる独特な世界観が華やかな雰囲気を演出しています。主人公の破天荒な性格を活かしたコミカルな表現によって物語は軽快なテンポで進む一方、戦争や失恋といったシリアスな展開も描かれ、その緊急が読者の感情を大きく揺さびります。

そら 天は赤い河のほとり

篠原千絵、小学館



古代の運命に立ち向かう少女

現代を生きる中学生・夕梨は、古代オリエントのヒッタイト帝国に引き込まれてしまう。彼女を呼び寄せたのは権力を我が物にしようとする皇妃ナキア。彼女によって生贊として命を狙われるも若き皇子・カイルによって救われ、身を守るために側室となる。神の化身として抱き上げられ、王位継承争いや他国との戦争に巻き込まれる中、夕梨は自らの意思でこの国に残り、カイルと共に運命に立ち向かっていく。

呪術や戦争といった激しい展開では、大胆な構図と緻密な描写によって少女漫画とは思えない緊張感と迫力を演出しています。それに伴う主人公の複雑な心理描写も繊細に表現され、表情やモノローグを通して読者を物語に引き込みます。

はみだし
すてーじ

温泉行きたい。
⇒今まであたたまりますよね！

豊臣秀長を知る！

1月4日に放送が開始された大河ドラマ『豊臣兄弟！』。物語の主人公、豊臣秀長についてよく知らない人も多いのではないでしょうか。そこで今回は秀長について紹介します。(つくし)

Profile

- | | |
|--------|---|
| 1540 ? | 秀吉の弟として生まれる |
| 1582 | 福知山城二代目城主となる |
| 1585 | 小牧・長久手の戦い後の織田信雄の臣従に携わる
紀州攻めを経て和泉・紀伊を拝領
四国攻めを経て大和を拝領 |
| 1587 | 8月 大納言に任じられる |
| 1591 | 1月 死去 |

秀長と京都

福知山城二代目城主であったことに加え、京都市北区にある大徳寺大光院は秀長の菩提寺の一つ。なんとこの冬、1月9日～3月18日に4年ぶりの特別公開がおこなわれる。墓所を間近で拝観することはできないが、この機会に訪れてみては。

天下統一を果たした暁には、秀吉自身は東アジアの外交・軍事に専念し、日本国内のことは秀長に任せたという構想を語っていたことを示す資料もあるほど、秀吉から信頼され多彩な活躍をみせていた秀長。彼の生涯がドラマでどのように描かれるのか楽しみですね！

兄・秀吉の「名代」

秀吉の代行者として織田信雄（信長の次男）を臣従させるための交渉を担ったり、四国出兵の総大将として現地で指揮を執ったりと、諸大名との交渉や軍事活動において政権を支えた。

和泉・紀伊・大和を統治する 大和大納言

紀伊攻めと四国攻めの論功行賞として、一族最大の領地高となる大和三国の支配権を獲得した。検地や刀狩など豊臣政権の政策を遂行し、当時宗教勢力の強かった大和にも政権支配を浸透させた。



時代小説を読んでみよう！



時代小説を読んでみよう！

編集部員・つくしの記事を読み、ますます時代小説が読みたくなったあなたに、おすすめの2作品をご紹介。(みずおにぎり)

第166回直木三十五賞
『このミステリーがすごい!』大賞など
ミステリーランキングで4冠を達成

『くろうじよう 黒牢城』
米澤穂信 著
角川文庫

織田信長に叛旗を翻した荒木村重は、説得に訪れた織田方の智将・黒田官兵衛を土牢に幽閉して有岡城に立て籠もった。毛利方の後援を待つ有岡城で、次々と不可解な事件が起こる。有岡城が堅城たり得るかは、兵や民草の土気にかかっている。人々の疑惑の心を晴らすため村重は官兵衛に謎を解くように求める——。事件の裏には何が潜むのか。戦と推理の果てに、村重と官兵衛は、何を企むのか。城という巨大な密室で、因果が巡り始める。

はみだし
すてーじ

文学部だけど大学入ってから1冊も小説とか読んでない
⇒そんなあなたに、上記の2作品をご紹介！ 日本史の教養にもなっちゃう時代小説はいかが？



まいまいづぶろ
村木嵐

第12回日本歴史時代作家協会賞作品賞
第13回本屋が選ぶ時代小説大賞
第170回直木三十五賞候補

村木嵐先生は京都出身で我ら
京大生の先輩。法学部卒業後、
会社勤務を経て司馬遼太郎家
の家事手伝いとなり、後に司
馬夫人である福田みどり氏の
個人秘書を務める。

八代目將軍・徳川吉宗の長男・徳川家重は、難産の
すえ産まれたため身体に障害が残り、ろれつが回ら
ず、手が震えて文字が書けず、誰にも言葉が届かない。
おかげで歩いた後には尿を引きずった跡が残る
ので、「まいまいづぶろ(カタツムリ)」と揶揄され、廃
嫡が噂されていた。そんなある日、彼の言葉を理解
する少年・大岡兵庫が現れる。その耳の良さを買わ
れ、兵庫は何の後盾もないままに家重に仕え彼
の口の代わりを務めることになった。思惑が渦巻く
幕府で、家重と兵庫の絆が試される。

(文・1 さんさん)

(面白くて一気読みしました；編)